

# 調布「憲法ひろば」

WEB サイト <http://www.geocities.jp/chofu9jou/index.html>

第19号

3月30日  
2006年

発行=憲法「九条の会」調布のひろば

〒182-8511 調布市国領町 2-5-15  
あくろす 2階 市民活動支援センター内  
メールボックス 6番  
FAX 番号: 0424-83-1566 大野気付

E-Mail : [chofu9jou@yahoo.co.jp](mailto:chofu9jou@yahoo.co.jp)

\*\*\*\*\*

教育基本法が昨年末に改悪され、先月の都知事選で石原が三選されるなか東京の教育は今後どのように変えられていくのか、激動も予想されます。お話しいただいた皆さんを守るために、当分の間、写真とご氏名の掲載を休止します。ご理解ください。

写真は左から Eさん Mさん Kさん 下は司会・進行役の庄司洋子・石山昭男世話人

●●● 調布「憲法ひろば」 ●●●

## 4月例会のご案内

● 4月21日 (金) 18時半～

「無防備都市宣言」について

発題: 柴崎の三宅征子さん

会場: 国領駅前「あくろす」3階ホール

●●● その後のスケジュール ●●●

5月28日 (日) 13時半～

自民党「新憲法草案」が描く日本の未来像とは 発題: 東つつじが丘・丸山重威さん

● 「九条の会」全国交流集会 ●

6月10日 (土) 11時～16時半

会場: 日本青年館ホール

8月12日 (土)～13日 (日)

調布「憲法ひろば」夏期合宿



そんな状況の中でも「子どもたちの感性はすばらしい」「何としても反撃を」など、元教員だった人びとからの激励と決意の発言が相次ぐと、Mさんが「確かに若者たちは九条の心を伝えても逃げたりしない」と応

針の穴でも開けて行きたい

第13回憲法ひろば  
は3月26日、13時半から開催。「より過激な教育改革」を標榜する石原都政が、子どもたちと教師・保護者の人権をいかに侵害しているか。憲法・教育基本法を守り奮

## 第13回 憲法ひろば

関する3人の現場教諭の報告を受けて討論しました。この日の参加者は40人、学校現場のあまりの荒廃に驚きながら、憲法を活かす課題のたいせつさをあらためて深めました。



写真は教育現場への激励と決意をのべる参加者



## 「日の丸・君が代」の強制で

EさんとMさんは小学校の教諭、Kさんは養護学校の教諭です。

教育実践30年の3人は、それぞれの立場から、1999年の石原都知事誕生と国旗・国歌法制定、2003年の「日の丸・君が代」を強制する通達(10・23都教委通達)などが、常軌を逸した教育反動化の契機になったと訴えます。

そのもとで教員への支配、子どもの権利破壊、「学校選択制」など、子どもたち・教師・保護者への人権侵害と教育の破壊がひろがっていると言います。

## 改憲の動きと根はひとつ

都立七生養護学校への「性教育攻撃」で校長とともに処分された116人の1人、Kさんは、ことし異動した調布養護学校で創立30周年行事の「日の丸・君が代」に起立しなかっただけで「停職処分」を受けました。Kさんの報告は、石原都政の「より過激な教育改革」が調布にも乱入していることを実感させ、会場には緊張が走りまわりました。

報告は、憲法改悪の動きと教育反動化・教育基本法改悪の根っこがひとつであることを、事実によって裏付け、憲法を活かすことの大切さを実感させてくれました。

石原都政の「より過激な教育改革」がここまで来てる!